

## 台風 19 号(2019.10)片平丁小学校避難所対応 メモ

### <概要>

1. 避難者数 累計 109 名

2. 気象情報 ※

(1) 気象警報等

・仙台市西部

12日 19:10 土砂災害警戒情報 [発表]

23:10 大雨特別警報 [発表]

13日 05:45 大雨特別警報 [解除]

11:20 土砂災害警戒情報 [解除]

・広瀬川

12日 22:45 広瀬川氾濫警戒情報 [発表]

13日 04:40 広瀬川氾濫注意情報 [解除]

(2) 気象観測値

・雨量

総雨量 383.5mm アメダス仙台(11日 15時00分から 14日 10時00分)

最大1時間雨量 63.5mm アメダス仙台(12日 22時32分から 12日 23時32分)

・風速

最大風速 19.4m/s(北北西)アメダス仙台(13日 2時14分)

最大瞬間風速 30.4m/s(北) アメダス仙台(13日 2時01分)

3. 避難指示等の状況 ※

12日 13:00 避難準備・高齢者等避難開始(市内全域 土砂災害) [発令]

17:00 避難勧告(市内全域 土砂災害)[発表]

21:00 避難指示(緊急)(市内全域 土砂災害)[発令]

※ 台風第 19 号による被害状況等について(第 11 報)[仙台市危機管理室](令和元年 10 月 16 日(水)9 時 00 分現在)からの抜粋

4. 被害状況

- ・ 花壇大手町地区 = 評定河原球場前の道路マンホール吹上、ガレージのシャッター破損、杉の木折れ(1か所)
- ・ 米ヶ袋地区: 鹿の子清水通・本多会館前の側溝脇のアスファルト舗装が水圧で隆起、縛り地蔵境内陥没

## <考察・感想>

### □ 避難の傾向

- ・ 明るいうちからの避難を呼びかけてはいるものの、多くの方が避難したのは雨が強くなってからだった
- ・ 情報をとりやすい若い世代は動けるが、本当に避難してほしい危険箇所に住む高齢者の方の指定避難所への避難はほぼなかった。
- ・ 片平地区内がんばる避難施設へは、米ヶ袋1名、花壇・大手町地区 12 名(内 65 歳以上の高齢者 7 名)が避難。

### □ 避難所の環境、配慮が必要だったこと

- ・ 10 月中旬でも避難所はけっこう冷えた。小学校にあった毛布では足りず、徒歩 5 分ほどのところにある片平市民センターから毛布を追加することになった。
- ・ 妊婦さんが一人いた。
- ・ ケージなしで小型犬を避難できるかの相談があった。ここ数年ペット同行避難訓練していたので避難させないという選択肢はなく、どう住み分けするかを小学校で判断してくれ、平時の子どもたちの使用時にも子どものアレルギーに影響しない部屋(校舎 4 階にある図工準備室)を別に用意してくれ、別部屋に同行避難してもらった
- ・ 中国籍の留学生が 3 名ほどいた。日本語もうまい方々だったので、なんらコミュニケーションの問題はなかった。
- ・ 足が不自由かつ軽い認知症を持つ高齢の方が奥さんとともに、警察官の方に連れられ避難。マットなどを使ってもらい体育館の中でも少々環境をご本人・ご家族と相談し整え過ぎてもらう。
- ・ 受付カードを全員に記載。配慮事項(乳幼児、障害の有無など)書いてもらう欄有り。そのため、どのような属性の方が避難してきたかの把握・分析に役立った。(当避難所でこのカードを本格的に運用したのは初めてとのこと)

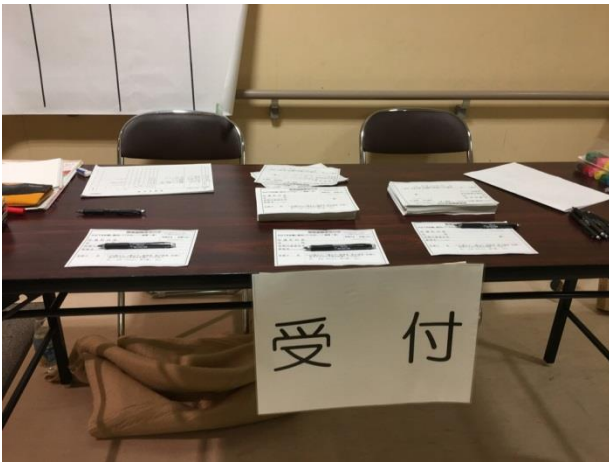
### □ 体制について

- ・ 小学校の教職員の方もずっと 10 名くらいの体制であたってくれ、臨機応変に入口付近で雨具を乾かせるハンガースペースをつくってくれたり、模造紙やペンを即座に用意してくれたりした。
- ・ 避難してくる方もお客さん意識の人はみられず、自分で毛布を持参したり、若い家族で近所で声かけあってきた家族もいた。ただカードに町内会名を書く欄があるが「?」「どこだろう?」という方が半分はいた。(特に学生さんの避難が多かったからか)
- ・ 町内会役員・SBL が 10/12(土)13:00 前には避難所におり、避難所や町内のがんばる避難施設開設にあっていた。
- ・ 町内会役員・SBL 以外では「東日本大震災のときに避難所にボランティアにきたので今度も手伝うことあれば」と来た人や、公営住宅に今は住んでいるが震災時は石巻にいて流された経験を持ちつつ、当時の長期にわたった避難所経験や普段スキーや雪山救助をしたりしている経験を活かして一晩中、休むことなく避難者受入れにあたってくれる人も現れた。

以上



避難所開設の様子。同スペースに災害対策本部。(夜は消灯)  
6:10 過ぎには避難者は全員帰り、6:30 には片づけ完了した。



受付で簡易避難者カードを記載してもらった。  
(防災マニュアルの参考様式)

時間	花店 KADAN OIEMA	霊屋下 OTAMAYASHIIE	果ヶ袋 KOME GAEUKUB	その他 OTHER	計 Total
13:00~		1			1
14:00~		1			2
15:00					
16:00		T	F	3	7
17:00	正	5 F	3 F	3	18
18:00~		1 T	2 正	6	27
19:00~	T	2	-	1	31
20:00~		1	1 正	5	1
21:00~	正 F	9 正正 T	12 正正正	15 正 T F	74
22:00~		1 正 F	8 正	6	89
23:00~	F	4 T	2 正	5	100
24:00~			1		101
1:00~		F	3		104
2:00~					104
3:00~			F	1-3	97
4:00~				F-3	91
5:00~				正	
6:00~	6:10 全員帰宅				0
7:00~					
8:00~					

受付脇に避難者水位を水害が予想される地区毎に記録、  
貼り出し。(教員の方のアイデアで英語併記)

2019.10.12~13 豪雨における避難者  
(片平小学校)

■ 集計

地域	人数
花壇・大寺町地区	22名
霊屋下地区	35名
米ヶ袋地区	43名
その他(学区内)	5名
その他(学区外)	4名
合計	109名

■ 性別

男性：65名

女性：44名

■ 年齢

0~19才：25名

20~39才：53名

40~59才：21名

60才以上：10名

■ その他補足

- ペット同行避難(フジおし小型犬) 1匹
- 妊婦の方 1名
- 足が不自由な認知症I. 1名  
(74才)
- 留学生(おとら(中国籍)) 3名ほど

2015年9月豪雨時にも上記の内容で、地区ごとの避難者数を取りまとめ、その後の対策に活かしていたので、当日のうちにカウント・関係者間で共有した。

ちなみに大橋下流においては、今回台風19号より、2015年9月豪雨時の方が水量が増えていた。  
(参考:定点観測記録写真)



平時の広瀬川(2015年7月7日撮影)



2015年豪雨時(2015年9月11日7:00)